

仕事を楽しむための
WEBマガジン
ビープラス
B+ B-plus
に掲載中!

注文住宅と建売住宅の間 “ちょうどいい家”を提案

株式会社シンセイ コーポレーション



代表取締役 吉田昌弘 × 野球解説者 駒田徳広



▲土地探しからアフターメンテナンスまでワンストップで手がける株式会社シンセイコーポレーション。各家庭のライフスタイルに合わせた「ちょうどいい暮らし」をコンセプトに、注文住宅と建売住宅の中間地点、まさに“ちょうどいい家”を提供している

【本社】〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町 7-150
ウエインズ & イッセイ横浜ビル 7F
【小田原営業所】〒250-0055 神奈川県小田原市久野 852-10
【大和営業所】〒242-0024 神奈川県大和市福田 4079-14
【事業内容】注文住宅事業/建売事業/AP事業/リノベーション事業/不動産事業/コンサルティング事業
【創業】平成6年11月 【従業員数】22名
【ホームページ】<https://www.e-sinsei.co.jp>

詳しくは、ビープラス
「経営者インタビュー」にて



仕事を楽しむ 吉田昌弘

検索

駒田 横浜本社をはじめ、小田原、大和の営業所と、神奈川県を拠点に建築業を手がける株式会社シンセイコーポレーションさん。主にどんな建築工事を請け負っているのですか？

吉田 メインとなるのは新築木造の住宅です。神奈川県エリアを中心に戸建住宅をつくっており、マンションのフルリノベーションや店舗のリフォームも得意分野ですよ。また、家の新築に伴う土地の仕入れなど不動産事業も手がけています。アフターメンテナンスにも注力しており、ワンストップのサービスを心がけているんです。家を中心にお客様と長く広く、ご縁を紡いでいくことが私の理想ですね。

駒田 家づくりのコンセプトについてもお聞かせください。

吉田 家族のあり方に合わせた「ちょうどいい暮らし」をコンセプトに、機能面でも「注文住宅は高くても手を出しづらい、でも建売住宅では満足できない」という方にも喜んでいただける「ちょうどいい住まい」を提案いたします。

駒田 注文住宅ほど高価ではないけれど、建売住宅のような紋切り型の家ではない、と。それは興味深いです。例えばどういう工夫を凝らしているのでしょうか。

吉田 コロナ禍の今ですと、玄関で手を洗える場所や、リモートワーク用のスペースを設けるようにしています。また、ネット通販を利用する方が増えていきますから、荷物をストックできるスペースも喜ばれますね。

駒田 なるほどなあ。時代によって変化するライフスタイルに合わせて、必要なものを盛り込んでいくわけか。注文住宅よりは費用を抑えつつ、それでも妥協せず、いい家を建てようという吉田社長の心意気を感じます。

吉田 安く家を建てて利益を得ようと思えば、いくらでも方法はあります。でも、弊社にとっては大事な利益ではありません。一生に一度の買い物といわれる「家」を手がける者として、価格競争をするより、誇りの持てる仕事をしていきたいと思っています。例えば、自宅に招いた友人から「いい家だね」って言ってもらえると、誰でも嬉しいじゃないですか。今後もそういう喜びをお客様が得られるような住まいをつくっていききたいですね。